

青葉区民会議 第16回 運営委員会議事録

日時	7月26日(木) 区役所406号会議室 15時～16時40分										
委員出欠	健康・福祉・教育			○	齋藤	○	飯塚				
	自然・環境	○	加茂	○	福島	○	小杉				
	安全・安心・まち	○	渡辺	×	鮫島	×	小池仁	○	松尾	○	小池由
	役員(太字)	×	嶋田								
事務局	川口係長 寺澤職員										
配布資料	1. レジューメ 2. 部会報告 3. 区民会議ニュース案 4. 年間スケジュール表 (事務局より)										

進行：小池 書記：小池

## I 報告・連絡事項

### 1. 代表報告 小池代理

- ・横浜北部まちづくり交流会 次回の幹事会に提出できるよう各部会でテーマについて検討してください。運営委員会で調整をします。
- ・会員登録削除を行います(大友、津端)

### 2. 三部会報告(各部会長) 詳細は下段に記載 それ以外について列記

#### ・健康・福祉・教育部会

大友部会長退会後の部会では、新体制を決められなかった。8月度部会で行う。

広報委員：引き続き齋藤さん 大和田さん

部会報告作成 事務局送付：飯塚さん

ケアプラザアンケートについて責任担当者を決め、安全部会と意見交流を進める。

#### ・自然・環境部会

運営委員会報告を部会開催までに部会員まで届くようにして欲しい。

→運営委員会議事録(案)小池作成→3部会長へ確認→確認後PDF作成しお知らせメール送信という流れで周知を図っている。部会開催までにお知らせメール送付ができるよう部会長の確認作業への協力をお願いしたい。(小池)

恩廻公園調節池訪問後の意見交流を行えばよかった。

→部会を越えた活動として進めるために、自然部会の方で、意見交流時間をセットして欲しい。

安全部会で参加を呼び掛ける。・・・交流日程の調整を自然部会へ依頼。

#### ・安全・安心・まちづくり部会

年間活動を部会総力で進めるため、テーマごとに推進担当を決めた。

### 3. 広報委員会

- ・49号編集会議は 本日原稿案を広報委員に送付。メールでの編集を続けます。
- ・次回8月6日(月) 4時より 会場3階打ち合わせスペース
- ・ウェブアンケート 部会活動を具体的に進めるためにも、ぜひ何をアンケートするのか部会で検討して欲しい。

### 4. プロジェクト関連

- ・なし

### 5. 事務局報告

区民まつり参加申し込み 8月に行います。

「市職員からのメールでの添付ファイルの受取方法の変更について」

詳細 <http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/ict/e-mail/>

## II 議事事項（決定事項／保留事項）

1. 横浜北部まちづくり交流会
代表報告にある通り、各部会で取り上げることができるテーマを検討しておいてもらいたい。 8月運営委員会で報告 調整
2. 後期事業の確認
区民会議ニュース(49号編集中、50号) 区民まつり(8月に事務局から申し込み 場所など確認してもらう) 総合担当を小杉さんに ロビーパネル展示 第13期委員募集も兼ね行う。区民会議全容紹介については運営委員会、広報委員会が作成。 各部会1枚程度を予定。1/15の週が可能と事務局より。 *委員募集を1月広報に掲載する予定→募集記事締め切りは11/15となる。  予算への要望提案づくり→8月運営委員会に提出すること。 本日年間スケジュールを配布。部会活動と全体活動を各部会で調整すること。 公開講座 区民のつどい まち歩き、見学会 →部会で企画して運営委員会で共有

## III 今後の予定

次回運営委員会 8月23日(木)15:00-17:00

勉強会 未定

## III. 各部会報告

自然・環境部会 7月9日(月)18:00-20:00 ふれあい青葉 部会員数 (11名) 参加者数 (3名) 他部会から1名
運営委員会からの報告 ①テーマ別活動について ②横浜北部まちづくり交流会幹事会(5/30)の報告を受けて ・昨年2017年度は共通テーマとして「鶴見川」を取り上げた。 ・今年は幹事区の緑区から「各区の課題と対応で参考になることを発表しあう」が提案された。 →これを受け大雨土砂災害などについて話し合ったが、次月継続とした。 →これに関連して、部会で中身のある議論をするためにも、このような情報を事前に知りたいので、「運営会議議事録を一般部会員にも配布して欲しい」との要望があった。 ③ミツバチプロジェクト講演会 7月7日(土) →自然環境部会活動とも重なるテーマだったので、興味深い内容だった。 ④広報委員会報告 次号区民会議ニュースには、安安部会と共催する「恩廻し公園調節池見学会報告」を載せたい。 II. 平成30年度の活動について ①恩廻し公園調節池見学会 7月6日(金)(寺家・四季の家13時30分集合 → 悪天候のため、7/20に延期実施。 7月20日は安安から4名、自然から3名の参加 ②横浜みどりアップ計画(26年~29年)の実績・概要 について内容確認&議論した。 →現在の横浜みどりアップ計画(計画期間:平成26年~30年)は平成30年度で 終わるが、横浜市はこの活動を「これからの緑の取組[2019~2023]」という形で 継続するべく原案をまとめている。(第3期という言葉は使わない) →地域緑のまちづくり(柿の木台や江田など)に区民会議はどう関れるか等を議論した III. その他(区民会議・自然環境部会の役割について、加茂部会長より以下の話しがあった。

- \* 「青葉区の街路樹が維持されているのは、こんな苦勞があるんですよ」とか  
寺家の里山では、どんな人達がどんな契約をして田んぼが維持されているのか、  
とかを区民の皆さんに伝えるのが区民会議の役割。
- \* 市民の森は公園でなく、市と契約している地主さんがいて維持管理されているんだ。とかいうことを区民に伝えたい。
- \* ケアプラや保健推進委員などが、今盛んに実施しているウォーキングについても、「緑の維持管理について話をできる人を入れるなど。 これらを今後提案していきたい。  
→ これについて、以下の意見（異論）が出た。
- \* 市区民が何を望んでいるかを吸い上げ、提案していくのが区民会議の役割ではないか？
- \* 区民が望んでいるかわからないことを部会の数名で提案していくことが本当に正しいのか？
- \* 区民会議の役割（広聴と提案）の広聴をどう実施する？ QRコードも使ったウェブアンケートの実施も検討すべきでは？
- \* 区役所がなかなかできないこと（含む広報）を区民会議が代わりにできれば。
- \* その他、みどりアップ計画の広報について、区と市の分担などについても議論した。

次回の予定 8月13日（月）18時～

田奈 区民交流センター 進行（加茂） 書記（ ）

健康・福祉・教育部会 7月10日（火）18:00-19:40 ビオラ市が尾 1階研修室

部会員数 （15名） 参加者数 （ 7名 ）

部会報告 書面でなし 口頭

部会長選任に関しては次回部会で

次回 平成 8月7日（火）18:00～20:00 ビオラ市ヶ尾1階研修室

安全・安心・まちづくり部会 6月1日（金）18:00-20:00 ビオラ市ヶ尾一階研修室

部会員数 （25名） 参加者数 （10名）

#### 1. 推進担当者年間計画について

安安部会関連イベントの推進担当者を決め、FreeML を活用し、担当者間で情報・意見の交換を行い、部会・勉強会で進捗状況を確認しあう。（年間計画表を参照）

#### 2. 平成31年度 要望・提案（6日部会検討を基に20日勉強会検討を加筆）

##### 新規 要望・提案

- ① 専門家の紹介⇒家具転倒防止工事等、優良技術者を登録、公表し、安心して防災対策がとれる体制を構築
- ② 自治会の防災力を評価⇒「町の防災組織チェックシート」を活用、項目別に自己評価し、達成度を各自治会が認識し、長所を伸ばし、短所の是正を明確に行える体制を
- ③ 「防災士」活用の研究⇒防災拠点運営メンバー、関連職員等に対し「防災士」資格取得を応援し、全体のレベルアップを図る
- ④ 地域単位での要援護者の把握と発災時の安否確認体制の確立を

##### 継続 要望・提案

- ①（継続7）区内施設内のWifi環境の整備
- ②（継続8）図書館の町田市との広域利用、取次サービスポイントの拡大
- ③（継続13）帰宅困難者一時滞在施設、訓練実施状況・2日分の備蓄を
- ④（継続14）避難所運営シミュレーションゲーム、防災拠点の防災力の底上げ。講習会開催、防災拠点連絡協議会での発表等
- ⑤（継続15）
  - ・「地域防災力の向上を目指して」
  - ・「まちの防災組織」形成に向けた「マニュアル」の作成を
  - ・防センアカデミーと同等のセミナーを区内で開催し、地域防災力の担い手の育成
  - ・「減災活動推進事業費」の有効活用に向けた見直しを
- ⑥（継続16）大規模災害時、断水、下水管破損等により水洗トイレは使用できない。トイレパック等準備をPRすべき

- ⑦（継続 22）屋外スピーカーの設置を（同報系デジタル防災行政無線）
3. 「横浜北部まちづくり交流会」テーマについて（青葉区、4 区共通）  
→FreeML に各自意見をアップすること
4. ウェブアンケート構築作業（広報・広聴機能の強化）  
テーマ、想定質問⇒災害対策について訊く（食料、飲料水、携帯トイレ等）  
《7 月 20 日 見学会・勉強会》
1. 見学会「恩廻公園調節池」（自然環境部会 3 名、安安部会 4 名）  
鶴見川増水時、越流堤から流入する雨水を最大 11 万立米地下トンネルに貯水、下流の氾濫を防止。  
平成 15 年の完成から過去 2 回の雨水流入があった。
2. 勉強会  
「要望・提案」について検討、内容は部会レポートに加筆  
「年間計画・推進担当者」について、FreeML の活用で情報交換を活発に